

環境経営を牽引する新資格「EMS GHG plus 審査員」

【EMS GHG plus 審査員とは】

既存の EMS 審査員（JRCA 登録）の方々を対象に、温室効果ガス（GHG）排出量の算定や検証に関する専門知識を「プラス」いただくための新しい資格制度です。

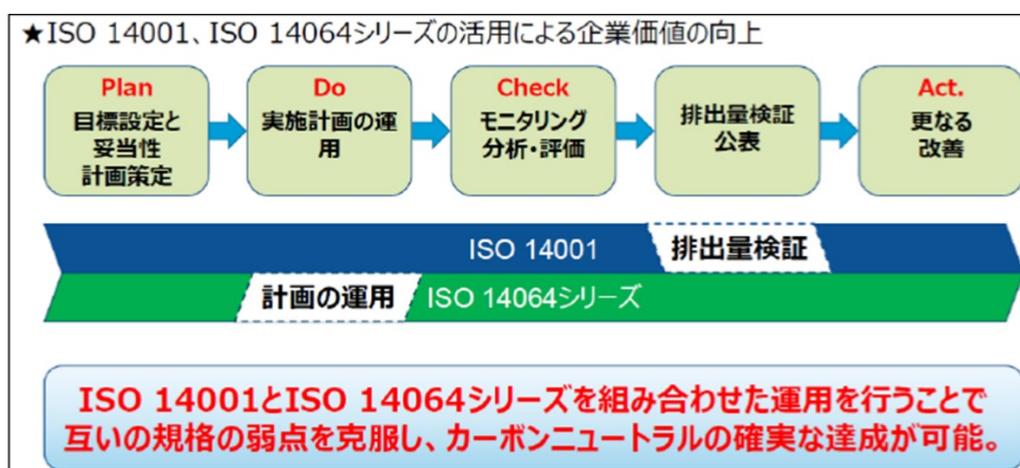
【資格要件】

- ・ JRCA 登録の EMS 審査員（資格区分の条件なし）
- ・ 必須研修（2 日間）の修了・合格

【本資格の狙い】

企業のカーボンニュートラル達成を「確実なもの」にする

単に GHG 排出量を算定するだけでは、継続的な脱炭素化の取り組みは実現しません。本資格を活用し、ISO 14001 の PDCA サイクルと、ISO 14064 シリーズ（GHG 排出量の算定・報告・検証）を組み合わせることで、互いの規格の弱点を克服し、確実なカーボンニュートラルの達成が可能になります。



※「JAB30 周年プラットフォーム サステナブル研究会 WG2 報告資料」から引用

【本資格の有効な活用方法】

1) 社内エキスパートとしてのキャリアアップ

企業内の環境・EMS 推進部署に所属する方が本資格を取得することで、排出量の算定や検証に関する専門知識が身に付き、排出量の算定（スコープ 1、2）から、目標設定、データ品質の保証、そして実際の削減対策までを牽引する社内のエキスパートとして活躍の場が広がります。

2) 「EMS 監査の質・価値」の向上

企業における GHG 排出量計測や削減対策支援に対するニーズは急速に高まっています。既存の EMS 監査業務に、本資格で得られる「GHG 排出量削減の視点」や「排出源・排出係数、データ収集・分析に関する知識」を組み込むことで、より時代と企業のニーズに即した価値の高い監査を提供できるようになります。

3) 脱炭素化事業における「専門性の証明」

本資格は、GHG の算定・検証や排出権取引などの脱炭素化事業に関わる方にとって、対外的な信頼性を担保し、質の高いコミュニケーションや報告を行う力量があることを示すものとして有効に活用いただけます。

【このような方におすすめです】

- ・企業等で EMS を推進する部署や事務局に所属し、脱炭素化を実務としてリードする方
- ・企業等で脱炭素化事業（GHG の算定・検証、排出権取引など）に関わる方
- ・EMS 監査において、GHG 排出量削減の具体的な視点を取り入れたい方

EMS GHG plus 審査員資格制度の概要

1. **資格名称**；EMS GHG plus 審査員
2. **資格の位置付け**；EMS 審査員資格制度のアドオン資格
3. **資格区分**；EMS GHG plus 審査員単独での資格区分はなし
(保有する EMS 審査員の資格区分に連動 (資格の有効期限も連動))
4. **資格要件 (①+②)**
 - ①JRCA 登録の EMS 審査員 (資格区分の条件なし)
 - ②必須研修 (2 日間) ※の受講・修了 (修了試験の合格)
5. **EMS GHG plus 審査員に要求される力量 (知識及び技能)**
 - a. GHG 排出量算定の基本的な枠組み、法規制及び規格等に関する知識
 - b. GHG 排出源と排出係数に関する知識
 - c. GHG 算定対象範囲と境界設定に関する知識
 - d. GHG 排出量の目標設定及び削減策に関する知識
 - e. GHG 排出量の検証/妥当性確認の実施手順に関する知識
 - f. データ収集・管理に関する知識及び能力
 - g. G H G 排出量の算定及び分析能力
 - h. データの検証・品質保証能力
 - i. 報告、コミュニケーション能力

※必須研修コースのカリキュラムの構成要素

注) 研修時間；計 2 日間（12 時間以上）

No	大項目	中項目
1	地球温暖化対策の概要、GHG 排出量算定の必要性	GHG に関する基礎用語
		脱炭素化に向けた世界及び日本の動向
		温対法に基づく GHG 排出量算定・報告・公表制度
2	GHG 排出量の算定・報告に用いられる国際的な基準の概要	GHG プロトコルの概要
		JIS Q 14064-1 の概要
		GHG プロトコルと JIS Q 14064-1 の違い
3	GHG 排出量の算定	排出量の分類法；スコープ 1、2、3
		基本的な算定式、及びその構成要素の概念
		活動量データ（燃料使用量、電気使用量など）の収集方法
4	インベントリの質の管理	インベントリの質管理システムの実施
		不確実性の概念：
5	GHG 排出量の報告	報告の目的（内部管理、外部開示）
		報告の重要性
		報告要件
6	GHG 排出量の検証	第三者検証の目的及び必要性
		検証の基本原則
		検証プロセスの初期評価の概要
7	簡易的な演習(算定及び算定結果のレビュー)	排出量の算定；サンプルを用いてスコープ 1&2 の排出量を算定する
		排出量の算定結果のレビュー；スコープ 1&2 の算定結果をレビューする

以上